



山野辺 裕二
国立成育医療センター病院 医療情報室長

【第10回】 いのち短し

電子カルテに関して入力情報量の問題が懸念されることがあります。私は仮にすべてをキーボード入力したとしても、理論値としては手書きの3倍以上の情報を書けるだろうと考えています。今回は、時間の無駄の不思議についてのお話です。

●機内の行列

空港や飛行機では、人々の不思議な行動を目にすることができます。着陸後飛行機が止まると同時に、たくさんの人が席を立てて通路に行列を作るのもよく見られる光景です。これは降機後の最終目的地に少しでも早く着きたいための行動なのかもしれません。しかしある日のこと、矛盾する体験をしました。

その飛行機は羽田空港に着陸した後、ターミナルビルから離れたところに到着しました。ビルまではバスに乗り換えるようです。飛行機が止まるやいなや、乗客のほとんどはいつものように席を立ち、手荷物を持って通路に行列を作りました。私は後方の窓側だったこともあり、席に着いたまま本を読んでいました。列が動き出します。私はその列の最後尾で飛行機を降りました。

地上には2台のバスが待っており、係員が乗客を両方に振り分けています。最後に私が乗り込んだバスの方が先に発車しました。そして、ターミナルビルでは私が真っ先にバスを降りたのでした。

そうです。この便に限っていえば、早く目的地に着きたいのなら最後に飛行機を降りるべきだったのです。

この体験は極端な例ですが、飛行機が到着してから降りるまでの間、通路に行列を作って待っているのは時間の無駄に思えてなりません。席に座って本を何ページか読み進める方がましだと思うのですが。集団心理って不思議です。

●日本語入力

次は、「多くの方がなぜ日本語をローマ字入力するのか」ということです。私は親指シフトという方法でかな入力をしますので、「ジャミックジャーナル」は10回キーを叩けば済みます。多くの方が用いていると思われるローマ字入力だと「jamikkuja-naru」で14回。試しにある文章サンプルを10分で何文字入力できるか比べてみると、かな入力では1331文字打てる文章が、ローマ字入力では971文字までしか打てませんでした。手書きなら600文字くらいは書けますが、他人に読める字ではありません。

また、普段ローマ字入力をしている方は気づかないでしょうが、私は同じ10分間でもローマ字入力の方がずいぶん疲れます。ローマ字変換で日本語を打とうとすると、まず頭の中でカナを一旦



親指シフトキーボードは、手前3列のみでかな入力ができる人間工学的に優れた配列です。その一方で絶滅も危惧されており、私も予備として買い支えたり、知人に送り付けたりする活動をしています。

ローマ字に変換し、指でアルファベットを打たねばならないからです。それをコンピュータが再び日本語に復元するわけですね。

日本語を聞いたときに頭の中にローマ字が浮かぶ人なら問題ないと思いますが、私はかな入力しているときの方が、脳と指が直結している感じがしてストレスがありません。

世の日本人の多くが、なぜこのように無駄の多いローマ字入力を使って日本語をタイプしているのか、私には不思議でなりません。限りある人生、非効率なタイピングで浪費しないようにしたいものです。

●会議

このように私は日本語入力が速く、仕事柄会議も多いので、会議室にパソコンを持ち込んでメモを取ればその場でほぼ完全な議事録を作ることができます。問題はパソコンでメモを取る必要のある会議は発言の機会も多いことです。残念ながら、会議で発言しながらタイプする能力は修得が難しいようです。

会議によっては議事録を作る担当者がいることもあります。しかし、今まで勤めた病院のなかで、パソコンを持ち込んで記録している事務担当者を見たことがありません。代わりに最近よく登場するのがICレコーダです。会議の後で手書きのメモや録音から議事録を作っているのだと思いますが、どのくらいの時間を費やしていることや。会議中パソコンに入力しておけばこの無駄は一掃できると思うのですが。

●レセプト

思いつくあらゆる無駄を超越しているのがこれ。レセプトの作成はほとんどコンピュータ化されているのに、わざわざ紙に印刷してやりとりする。これにかかる時間と労力、費用の無駄といったら……。この問題の考察だけで一年分の連載企画ができそうですが、簡単に電子化すると都合の悪い利害関係者が複数いるということなのでしょう。レセプトデータが普通にデジタル交換されるようになるまでには、あと何年かかるのでしょうか。

1986年長崎大学卒業。形成外科の勤務医として九州、四国の病院に勤務後、96年長崎大学病院形成外科助手。99年に念願の医療情報部門へ転籍、2000年長崎大学病院医療情報部副部長。03-04年米国マウントサイナイメディカルセンター医療情報学研究員。05年6月より現職。専門は医療情報学と病院管理学。自称外来語研究家、医療ジャーナリズム評論家。

